

シルプス (持続可能社会開発研究センター)

【訪問先】 C.I.R.P.S (ローマ・サピエンザ大学内)

【所在地】 Via Tommaso Grossi, 6-00184 Rome

Tel: +39 06 77073610-11 Fax: +39 06 77073612 携帯: +39 335 8141630

E-Mail: sg@isesitalia.it URL: <http://www.isesitalia.it>

【訪問日】 2004年10月19日(火)

【対応者】 Aldo Iacomelli (Prof. University di Pisa)

調査研究員 エマニュエル氏

調査研究員 ダンプリーノ嬢

1. はじめに

今回の訪問先である CIRPS は1988年4月に、イタリアの大学9校のコンソーシアムとして創設された。ローマ大学「ラ・サピエンザ」校はコンソーシアムの指導的パートナーである。

コンソーシアムのそのほかの加盟校は以下の通り。

1. ヴィテルボ大学 “デラ・トゥーシア” 校
2. カッシーノ大学
3. ペルージャ大学
4. トリノ大学
5. サッサリ大学
6. マチェラータ大学
7. パレルモ大学
8. レッチェ大学

CIRPS の使命は、イタリアと外国の機関、および国際機関と連携して、持続可能な経済・社会発展に関連する活動を推進・実施することである。

加盟大学の推進、国際ネットワークへの参画、および民間企業との連携を發展させることは CIRPS の使命の不可欠な部分である。

CIRPS は、加盟大学によって実行される多くの学際的活動の推進・調整・運営をイタリアと外国のほかの民間・公共パートナーと連携して行う。

したがって、CIRPS の活動は、世界的規模の私的専門家と企業家による学術的経験の組み合わせによって与えられる付加価値に重点を置いている。

開発途上国における科学技術協力に主に焦点を当てているが、持続可能な開発に関連する多くの活動は、イタリア国内と欧州連合内においても実行されている。

総合研究、教育訓練、および技術的・科学的支援活動は CIRPS によって開発・運営され、大変有能な大学スタッフと個人の専門家によって構成される実戦部隊によって実行されている。

2. CIRPS の活動

2.1 開発協力活動

CIRPS は、世界のいくつかの国々の国際援助者（イタリア外務省、欧州委員会、世界銀行等）を代表して、開発協力プロジェクトを運営する。これらの活動は、プロジェクト・サイクルのあらゆる面と関係しており、持続可能な開発に関連するさまざまな分野において開発される。

2.2 国際協力に関連する研究活動

CIRPS は、ローマにおいて、国際協力と持続可能な開発に関連する分野においてイタリアと外国の大学院のための多くの教育訓練イニシアチブ（博士・修士・学位・集中講義）

を運営する。

2.3 国際ネットワーク

CIRPSは、加盟大学の国際活動を推進する。CIRPSは、現在6つの国際大学ネットワークを運営している。このネットワークの目的は、さまざまな範囲の研究における持続可能な開発のための科学的協力を発展させることである。多くの世界的な大学間のいくつかの二国間協定もまた同様の目的を持ってCIRPSに管理されている。

2.4 研究・技術開発

大学共同利用センターとして、CIRPSは、再生可能なエネルギー、生物医学技術、通信・社会科学分野におけるいくつかの特定研究プロジェクトを直接実行・運営している。これらの活動は、主要ヨーロッパと国際機関との連携で実行される。

2.5 イタリアにおける特定活動

イタリア社会の持続可能な開発のために、学問的専門知識の利用を推進することはコンソーシアムの目的の一つである。この枠組み内では、CIRPSは、政府と地方の機関と連携して、イタリアにおける多くの監視・教育訓練活動をすでに運営している。そのような活動における加盟大学9校の科学的情報源のより大きい関与は既に計画済みである。



講義風景

3. 開発協力活動

CIRPSは、世界のいくつかの国々の国際援助者（イタリア外務省、欧州委員会、世界銀行等）から資金提供を受けている開発協力プロジェクトを運営している。

最も関連しているものは以下の通り。

①ヨーロッパインド「EU-インド経済異文化プログラム」。ECから2百万ユーロの資金提供。1997年～2000年。

企業大学、およびメディアの分野におけるEU-インド経済異文化プログラムのための経営主体の設置・運営。年次作業プログラムの準備、運用ガイドラインの定義、ニュースレターと資料ファイルの準備、プログラムの進捗・成果に関する四半期・年次報告書の準備。

②アルゼンチン「革新技术センター（CITEC）の設立」。イタリア外務省（MAE）から751,680ユーロの資金提供。1999年4月から3年間。

CITECの設立は、SME開発支援のためのノウハウの移転を目的としている。プロジェクトの主要活動は以下の通り。

- ・地元企業家的システムの技術革新のプロセスへの貢献
- ・事業組織の近代化
- ・品質管理と認証システムの導入
- ・事業創設のための事業環境の単純化

③ベルギー—MEDAカントリー「枠組み契約MEDAカントリー」。ECから6.5百万ユーロの資金提供。1997年～2000年。

コンソーシアムCEPTの先進企業。CIRPSはMEDA活動支援プログラムのための枠組み契約を管理しており、これには以下が含まれる。

研究の管理、識別任務、実行可能性行動、および次の3ロットのSMEに関するプログラム及びプロジェクトの評価とフォローアップ。

- ・ロットV—外国貿易及び観光事業の開発
- ・ロットVI—企業開発
- ・ロットVII—サービス部門開発

④ベルギー—MEDAカントリー「MEDAチームLOTIX—教育及び健康」。

ECから1,311,838ユーロの資金提供。1998年～2001年。

プログラムの枠組みの中で、ブリュッセルの欧州委員会への社会開発（健康及び教育）

プログラムの識別・実施・監視の支援。

- ⑤アンゴラ「疫学的監視プログラム」。イタリア外務省から2,200,000ユーロの資金提供。1997年～2001年。
全国レベルの疫学的監視システムの組織化。ルアンダに国立公共研究所と地域センターを4箇所に設立。
- ⑥チュニジア「院内部門の強化」。イタリア外務省から2,400,000ユーロの資金提供。2000年～2003年。
チュニスにあるエル・タビブ (El Tabib) 病院及び国立がん研究所 (National Cancer Institute) の改善のために衛生省 (MoH) への援助。
- ⑦モロッコ「タンジール・パスツール研究所への支援」。イタリア外務省から3,200,000ユーロの資金提供。1997年～2000年。
タンジール・パスツール研究所の公衆衛生機能の向上と伝染病監視のための研究所の地域ネットワークの設立。
- ⑧フィリピン「遠隔学習技術に基づく環境影響低下に関する修士課程」。イタリア外務省から230,000ユーロの資金提供。2000年～2001年。
環境技術と持続可能な開発の分野におけるイタリアとフィリピンの大学研究所間の協力に基づく修士課程。

4. 国際協力に関連する研究活動

CIRPSの専門的知識は、国際協力と欧州連合の政策、戦略、および手続きに関連する多様な科学的・合法的・社会的分野について、加盟大学によって実行される多くの大学課程と研究から恩恵を受けている。関連する学問的資源は、CIRIPSのこの分野における全てのイニシアチブのための付加価値を表している。

これに加え、CIRPSは多くの関連する大学院課程も直接運営している。それらは以下の通り。

- ①「サービス提供のためのEC入札手続き」。イタリア大学科学技術研究省 (MURST) — 2000年4月。
この課程はイタリアの大学の国際広報担当者70名を対象とした。

- ②「EU機関と地域共同体プロジェクト／プログラムの運営」。ローマ大学「ラ・サピエンザ」校からの資金提供。— 2000年9月。
この課程はローマ大学「ラ・サピエンザ」校の行政秘書100名を対象とした。
- ③「EU機関と地域共同体プロジェクト／プログラムの運営」。ローマ大学「ラ・サピエンザ」校からの資金提供。— 2001年1月と9月。
この課程はローマ大学「ラ・サピエンザ」校の各部門の行政秘書100名を対象とした。
- ④「グローバル経営プログラム I」。手数料方式により資金提供。— 2001年4月及び5月。
プロジェクト・サイクル管理と入札・提案呼びかけに関連するEC手続きに関する集中講義。この課程の参加者は40名であった。
- ⑤「EU機関及び地域共同体プロジェクト／プログラムの運営」。第二ローマ大学「トル・ベルガータ」校からの資金提供。— 2001年9月。
この課程は第二ローマ大学「トル・ベルガータ」校の行政秘書70名を対象とした。
- ⑥「グローバル経営プログラム II」。手数料方式により資金提供。— 2001年9月
プロジェクト・サイクル管理と入札・提案呼びかけに関連するEC手続きに関する集中講義。この課程の参加者は40名であった。
- ⑦「持続可能な開発にむけた協力のための技師の教育訓練」。MURSTと手数料方式により資金提供。— 1年間課程。
国際協力機関のキャリア追及を志す若い卒業生を対象とする1年間の大学院年間課程。この課程は、国際機関と連携した開発途上国における段階的な期間から構成されている。
- ⑧「国際的・非集中的協力に関する修士課程」。外務省 (25%)、ラツィオ地域 (20%)、ローマ大学「ラ・サピエンザ」校 — 1年間課程
この修士課程は、主要支援国 (ECを含む) の国際協力、政策、および手続きの全側面を取り扱う7つのモジュールで構成される。この修士課程は、世界銀行からの後援がある。

- ⑨「環境と持続可能な開発のためのエネルギー技術に関する博士課程」。イタリアの公的機関と民間団体によって承認されたフェローシップからの資金提供。
博士課程は1999年から存在し、現在までにイタリア人と開発途上国の外国人が約40人卒業している。

5. 国際大学協力

CIRPSは、加盟大学の情報提供源として、多くの国際大学協力イニシアチブを推進・運営を行っている。最も関連のあるものは以下の通り。

A. 国際ネットワーク

- ①レッド・アグロアンビエンタル (Red Agroambiental)：農業・環境ネットワーク ラテンアメリカ／ヨーロッパ
「レッド・アグロアンビエンタル」は、ホーエンハイム大学(ドイツ)、ラフバラ大学(英国)、ロス・リャノス大学(コロンビア)、ロス・リャノス「エゼキエル・ザモラ」(Unellez)大学(ベネズエラ)、およびCIRPSローマ大学「ラ・サピエンザ」校(イタリア)の各大学から構成される。これは、ヨーロッパとラテンアメリカの大学間の文化的・科学的交流を発展させる目的を持っている。
「レッド・アグロアンビエンタル」は現在、EC「ALFA」プログラムの枠組みの中で、「熱帯サバナにおける持続可能な生産システムの最適化」プロジェクトを運営している。
- ②UNINET-ECA：ヨーロッパと中央アジアの大学間での協力
1995年から運用されているネットワークで、共同研究と教育訓練プロジェクトの実施を通して科学、技術、および人文科学の分野において、大学連携を推進・組織する目的を持っている。
ネットワークはすでに、モスクワ国立工業大学「バウマン」校(モスクワ)とニジュニー・ノブゴロード国立言語大学(ドブロリューボフ)の間に2つのイタリア文化センターを設立済みである。UNINET-ECAもまた、

Tempus Tacis プログラムをモスクワ国立工業大学「バウマン」校において運営しており、ここでは、国際関係のためのオフィスもネットワークによって設立されている。

- ③大学連携のためのインドーイタリア協議会
ネットワークは科学、技術、および人文科学と社会科学の分野において連携を発展させる目的を持って1994年に設立された。ネットワークを通じて、CIRPS加盟大学は、アンナ大学(Chennai)、交通開発アジア研究所(ニューデリー)、開発通信研究所(Institute for Development and Communication)(チャンドラー)、防衛調査解析研究所(ニューデリー)、JNU大学(ニューデリー)、タミル・ナードゥ高等教育国務院(Tamil Nadu State Council for Higher Education)(シェナル)、およびデリー大学(ニューデリー)などインドの大学と多くの文化交流活動を確立した。
- ④大学共同利用ネットワーク CASALFA：ラテンアメリカの大学30校とCIRPS加盟大学
CIRPSは、ECのALFAプログラムに参加するために資源を特定・貯留する目的を持って本ネットワークを運営している。
現在までに、3件のALFAプロジェクトがネットワークに与えられ、CIRPSによって運営されている。
- ⑤IPI — 大学共同利用常設フォーラム — イタリア、インド、およびパキスタン
ネットワークは、インド・パキスタン間の平和への過程の枠組みの中で確立され、社会科学の分野において共同研究と文化交流の発展に焦点を当てている。
- ⑥常設フォーラム — イタリアーアルゼンチン
CIRPSはフォーラムの永久会員で、イタリアとラテンアメリカで大学間の大学と文化協力を強化する目的を持って2001年2月に設立された。いくつかのアルゼンチンの大学と地域の研究所(市政機関)はこのフォーラムの会員である。ほかのラテンアメリカの大学(サンチャゴ、モンテビデオ、アスンシオン、およびサンパウロ)はこのフォーラムに参加している。

B. 以下の世界中に及ぶ大学及び研究センターとの二国間協力協定

- ・カイロ大学：カイロ（エジプト）
- ・マレーシア戦略研究センター：クアラルンプール（マレーシア）
- ・「SMERI」ディーゼル海洋エンジン研究所：上海（中国）
- ・広州工業大学：広東省（中国）
- ・ワルシャワ工業大学：ワルシャワ（ポーランド）
- ・アラブ・アカデミー・オブ・サイエンス：ダマスカス（シリア）
- ・アジア工業大学：バンコク（タイ）
- ・チェコ工業大学：プラハ（チェコ共和国）
- ・ベネズエラ中央大学：カラカス（ベネズエラ）
- ・ピウラ大学：ピウラ（ペルー）
- ・アル・アト・バイト大学：アンマン（ヨルダン）
- ・ラ・ハヴァナ大学：ラ・ハヴァナ（キューバ）
- ・ブエノスアイレス大学：ブエノスアイレス（アルゼンチン）
- ・ラプラタ大学：ラプラタ（アルゼンチン）
- ・マルデラプラタ大学：ブエノスアイレス（アルゼンチン）
- ・モロン大学：モロン（アルゼンチン）
- ・BPPT：科学技術省／科学技術評価応用庁（インドネシア）

6. 国際研究活動

- ①「MUSART」－ EC「レオナルド(Leonardo)」プログラムから 240,000 ユーロの資金提供。「博物館商品化計画」の専門知識に焦点を当てた芸術派生製品分野における新しい職業プロフィールの開発。
- ②「エチオピアにおける疫学的監視の強化」。EC 枠組みプログラム RTD から 1,300,000 ユーロの資金提供。CIS 技術と公共研究所開発に基づいた疫学的監視の運用ネットワークの確立。
- ③「ヨーロッパエネルギー供給システムにおける再生可能なエネルギー源の統合システム」。EC 枠組みプログラム RTD から 958,084 ユーロの資金提供。非核エネルギー研究と技術開発プログラム。
- ④「Euro Islas」。EC 枠組みプログラム RTD

から 724,185 ユーロの資金提供。

島々と遠隔地のための新しい再生可能なエネルギー源に関する研究・実証プログラム。

- ⑤「南アフリカのためのニューイングランド古典協会（Cane）資源ネットワーク」。EC 枠組みプログラム RTD から資金提供。
- ⑥「ソマリア、メルカ市の地理情報システム」。EC 枠組みプログラム RTD から 500,000 ユーロの資金提供。メルカ市のための地理情報システム実現化と環境衛生ならびに健康状態の研究のための宇宙画像データの処理。

7. 所感

講義形式での説明を頂き非常に勉強になった。特に発展途上国に関する環境に配慮した援助及び助言に力を入れていることに感銘を受けた。

質疑応答のなかで太陽エネルギー、風力エネルギー、バイオマスエネルギー等の新エネルギーに対する研究が非常に盛んである印象を受けた。しかし、自動車会社や石油会社よりの反対運動などもあり、まだ10年ほどは化石燃料の社会であろうと予想されていた。

ただ、新エネルギーの研究継続が次世代社会の生命線であることは間違いなく、廃棄物等からのリサイクルエネルギーを含め、我々もこの分野に関する意識を持つ必要性を感じた。

（調査担当：石川貞仁、石倭行人、堀上幸二、堀北弘之、松村史朗、村河善信、薮本正人、吉川 彰）



集合写真